

株式会社Mizkan（大阪工場）の事業適応計画のポイント 令和4年4月27日

大阪工場の製造ライン工程で使用するエアーと加熱・殺菌に使用される蒸気の2つのエネルギー消費量が多いことから、蒸気配管送気バルブ自動制御設備の導入等によるエネルギー使用量の削減に取り組むことで炭素生産性の向上を図ります。

< 事業適応計画の概要 >

1. 事業適応計画の実施期間

2022年4月～2025年2月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

炭素生産性を7.4%向上させる。

3. 前向きな取組の内容

以下の取組により、製造時のCO2排出量を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

- ・ 蒸気配管送気バルブ自動制御設備の導入
- ・ ボイラー稼働適正化
- ・ ボトリングラインのコンプレッサー更新
- ・ ボトリングラインでの水滴除去エアーのブロー化
- ・ スチームトラップの省エネ機種への取り替え

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

< 取組内容のイメージ >

大阪工場

食酢・醤油醗酵設備、製造ブレンド設備、瓶詰ライン及び業務ラインなど生産機能を兼ね備えた大型工場



蒸気配管送気バルブ自動制御設備 (イメージ)

